

## 会議結果のお知らせ

- 1 会議名称 令和2年度第4回大分県スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 令和3年2月9日 13時30分～14時30分
- 3 開催場所 大分センチュリーホテル2階「桜の間」
- 4 出席者 **【委員】**  
松本 会長、古城 副会長、阿部 委員、井上 委員、榎 委員、  
芝原 委員、小笠原 委員、石橋 委員、牧 委員、土谷 委員、  
小井手 委員、横山 委員、丸山 委員、高司 委員、安部 委員、  
池部 委員 (16名出席/20名)  
**【県教育委員会】**  
工藤 教育長、久保田 教育次長  
**【関係課室】**  
後藤 地域保健推進監（健康づくり支援課）  
浜松 課長補佐（高齢者福祉課）  
梶原 室長補佐（障害者社会参加推進室）  
首藤 主幹（芸術文化スポーツ振興課）  
小野 課長補佐（教育財務課）
- 5 公開・非公開 公開
- 6 傍聴人数 0名
- 7 議事内容
  - I 報告事項
    1. 新型コロナウイルスを巡るスポーツの状況
    2. 大分県スポーツ推進計画（改訂版）の進捗状況について
  - II 議 事
    1. 令和3年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）について
    2. 第2期大分県スポーツ推進計画について
      - (1) 第3回審議会等における意見の反映状況について
      - (2) 素案に対する県民意見募集の概要と結果について
      - (3) 第2期大分県スポーツ推進計画（案）について

### Ⅲ その他

#### 1. 今後のスケジュール

## 8 主な内容

議事の概要、委員の主な質問・意見は次のとおり

### I 報告事項

#### 1. 新型コロナウイルスを巡るスポーツの状況

事務局

新型コロナウイルスを巡るスポーツの状況について、報告する。国の動向については、日本スポーツ協会が策定した「スポーツイベント再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づき、各中央競技団体が競技特性に応じた競技別のガイドラインを作成するという大きな流れに変更はない。

直近の改訂では、イベント時の観客の管理や、接触確認アプリの積極的な活用に関する内容が追加されている。

本県の状況について説明する。県立学校の運動部活動は、通常練習における感染症対策の徹底、活動内容の検討、合宿・県外遠征における安全性や必要性の検討、宿泊の際の感染防止策に係る計画作成等の留意事項について通知し、市町村教育委員会にも周知している。

大会は、高体連主催の県高校新人大会は2月7日までの間で競技別で開催した。また、高野連主催の「九州高等学校野球大会県予選会」等は予定どおりに、中体連主催の「県中学校新人大会」は例年より短い期間で実施し、無事に終了した。

総合型地域スポーツクラブは、市町村からの感染症防止対策の徹底の通知に従い、感染の防止対策を講じた上で、参加対象者や人数等を考慮しながら教室やイベントを実施している。

スポーツ少年団は、県境地域で県外チームとの交流禁止等の制限を設けている市町村があるが、日常的な活動は、感染症防止対策を徹底した上で各市町村とも実施している。

社会体育施設は、県境地域の市町村施設において県外在住者の使用制限があるものの、県・市町村施設ともに、県内在住者に対する供用は継続している。

県関連の主な主催事業については、「県民体育大会冬季競技会」が中止となった。また、「第70回別府大分毎日マラソン大会」は延期とし、

リモートマラソン「別大チャレンジ 2021」をキックオフイベントとして実施することとした。なお、国体に向けた「チーム大分強化事業」については、感染状況を考慮しながら実施している。

各市町村の取組状況では、多くの事業が中止となったものの、可能なものについては開催時期や参加対象者を変更するなど工夫しながら開催している。また、複数の市町村が、ケーブルテレビを活用した健康体操の放映等の取組を実施している。

全国・九州大会の開催状況では、国民体育大会関連では、スケート・アイスホッケー競技会は愛知県で開催された。また、スキー競技会は秋田県で開催予定だったが、中止となった。その他の大会では、全国中学校体育大会のスキー・スケート・アイスホッケー競技会の中止や、全九州高等学校新人大会の一部競技の延期又は中止が決定している。

議長 只今の説明に関して、質問等はないか。  
(委員からの質疑なし)

## 2. 大分県スポーツ推進計画（改訂版）の進捗状況について

事務局 当該計画は、平成 28 年 3 月に改訂された。大分県長期総合計画、大分県長期教育計画に基づく、スポーツ部門の計画として、『県民参加、スポーツ力（りょく）を高め、明るく元気な大分の創造』を基本理念としている。計画期間は、平成 28 年から概ね 5 年間で、本年度がその最終年となっている。

全体の達成状況は、11本の指標中、達成率100パーセント以上の「達成」が2本、80パーセント以上90パーセント未満の「不十分」が3本、「評価困難」が6本となっている。

「評価困難」及び、「不十分」となったものについて、その理由等を説明する。

「幼児期・少年期におけるスポーツの推進」に関しては、コロナウイルス感染拡大により、本年度の全国調査が中止となったため、「評価困難」となった。

「青年・壮年期におけるスポーツの推進」の、成人の週1回以上の運動実施率は、これまで継続的に上昇していたが、調査時期が緊急事態宣言の解除直後となったこともあり、施設の閉鎖や活動の自粛等の影響

で、大幅な落ち込みとなったと考えられる。

「高齢期におけるスポーツの推進」、「障がい者スポーツの推進」は、指標の対象としている「豊の国ねんりんびっく」、「県障がい者スポーツ大会」がそれぞれ中止となったため、「評価困難」となった。

「競技力向上対策の推進」の、高校生の全国大会における上位入賞者数は、12月時点で進行管理表を作成するため、評価年度の前年度の実績に基づき評価を行っている。令和元年度は、1月から3月に開催される全国選抜大会がすべて中止となったため、低評価となった。

総合型クラブの会員数も、令和元年度の実績に基づく評価となる。前年度までは、「概ね達成」の評価となっていたが、本年度は、調査時期が新型コロナウイルスの感染拡大と重なったこともあり、低評価となったと考えられる。クラブの抱える指導者、実施する教室数ともに減少傾向にあることから、今後の対策が必要と考えている。

議長 説明に関して、質問等はないか。  
(委員からの質疑なし)

## I 議 事

### 1. 令和3年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）について

事務局 「スポーツ基本法」第35条において、「地方公共団体がスポーツ団体に対し、補助金を交付しようとする場合、教育委員会、特定地方公共団体にあつてはその長が、スポーツ推進審議会等の合議制の機関に意見を聞かなければならない」と規定されていることから、提案するものである。

令和3年度予算（案）は、令和2年12月時点の要求段階の内容で、県議会令和3年第1回定例会での議決をもって成立することを前提に説明する。

生涯スポーツ関係では、県民体育大会運営費として大分県民体育大会実行委員会へ交付する負担金をはじめ、966万8千円を計上している。

競技スポーツ関係では、スポーツ振興基金の事業費として大分県スポーツ振興基金運用委員会へ交付する負担金をはじめ、4億13万1千円を計上している。

学校体育関係では、全国高等学校総合体育大会参会費として大分県高等学校体育連盟に交付する補助金をはじめ、6千319万7千円を計上している。

障がい者スポーツ関係では、障がい者スポーツ団体振興事業費として大分県障がい者スポーツ協会に交付する補助金をはじめとして、532万円を計上している。

国際大会誘致等では、大分県スポーツ合宿受入施設整備事業費として市町村に交付する補助金をはじめ、3億5千997万2千円を計上している。

全5分野の合計は、8億3千828万8千円となる。

議 長 説明に関して、質問等はないか。

(委員からの質疑なし)

議 長 令和3年度体育・スポーツに関する補助金・負担金(案)について、承認してもらえるか。

(委員からの「異議なし」との発言により、承認された。)

## 2. 第2期大分県スポーツ推進計画について

### (1) 第3回審議会等における意見の反映状況について

事務局 第3回審議会等における意見の反映状況について説明する。

第1編の総論部分については、意見がなかった。

第2編の基本目標Ⅰでは、6施策で11件の意見があり、6件について意見を反映し、素案の修正を行った。

基本目標Ⅱでは、3施策で9件の意見があり、3件について意見を反映し、素案の修正を行った。

基本目標Ⅲでは、基本目標全般に係ること及び2施策で4件の意見が出され、3件について意見を反映し、素案の修正を行った。

基本目標Ⅳでは、1施策で2件の意見があったが、上位計画との関連性、他分野での記載事項を考慮し、素案の修正は行っていない。

### (2) 素案に対する県民意見募集の概要と結果について

事務局 素案に対する県民意見募集の概要と結果について説明する。

昨年の12月15日から本年の1月15日までの1ヶ月間、素案全文、概要版等をホームページや県の施設で公開し、郵送等で意見を募集

した結果、1名の方から1件の意見が提出された。

意見については、計画の中に具体的取組を設定している内容であったため、素案の修正は行っていない。

(3) 第2期大分県スポーツ推進計画（案）について

事務局 第2期大分県スポーツ推進計画（案）について説明する。

第2期大分県スポーツ推進計画の素案について、大分県スポーツ推進審議会、県教育委員会会議、策定委員会委員との協議、県民意見募集等で意見を求めた。

それらを踏まえ、必要な修正を加え、「第2期大分県スポーツ推進計画（案）」を作成した。

修正は、計画をよりわかりやすくするための取組内容に合わせた主な取組名の変更や、主旨を明確に伝えるための文言や表現を追加・修正であり、計画の構成・内容を大きく変更するものではない。

議長 説明に関して、質問等はないか。

委員 地域におけるスポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブはコロナ禍で厳しい状況にあるようだ。計画の実行段階においてそれらを踏まえた取組が可能となるよう配慮してもらいたい。

委員 部活動改革に関しては、県と連携して取組を進めたいと考えている。学校単位の取組を地域に移行するためには枠組みを大きく変える必要がある。実行段階においては、様々な主体が連携して課題解決を行うことが重要になる。

委員 部活動に関しては校種を問わず大きな岐路に立たされている。地域移行の取組は必要だが、地域の実情に応じたものになるよう考えていくことが重要だと思う。また、効率的・効果的な指導についても併行して取り組んでいくことが重要だ。

委員 コロナ禍で活動休止となったこともあり、総合型地域スポーツクラブの会員は減少している。厳しい状況ではあるが、地域スポーツの核としての役割を果たせるよう取り組みたいと考えている。クラブに対する支援は市町村ごとにばらつきがあるのが実情だ。今後、県として計画の趣旨を市町村に徹底し、すべてのクラブが頑張れる環境整備を行ってもらいたい。

委員 総合型クラブの中には、小学生、中学生、高校生を受入れて部活動

の大会に参加させている事例があり、十分、地域移行の受皿になり得ると考えている。そのような総合型の公益性を鑑みると、計画にも記載されているがクラブハウスの確保を行政として支援するような取組が必要だと思う。

指導者に関しても、競技者から指導者の好循環等について記載されているが、実行段階では具体的な方策をしっかりと検討し、持続可能な仕組みを構築してもらいたいと思う。

議長 第2期大分県スポーツ推進計画（案）について、承認してもらえるか。

（委員会の「異議なし」との発言により、承認された）

### Ⅲ その他

#### 1. 今後のスケジュール

事務局 今後のスケジュールについて説明する。

承認された第2期大分県スポーツ推進計画（案）を、3月上旬の大分県教育委員会に議案として付議する。

議決されれば、3月下旬の大分県議会常任委員会に報告し、議会終了後に県民に対して公表する予定としている。

議長 説明に関して、質問等はないか。

（委員からの質疑なし）